

2022年10月19日

社会福祉法人 川越町社会福祉協議会

地域福祉課係 総務地域グループ

担当 山本 亜理沙 様

団体名：三重県多胎育児サークル「ふたば」

連絡先：090-4267-5751

代表者氏名：中口由里子 / 古川幸代

町で多胎育児者を救済する仕組み作りを

拝啓 仲秋も過ぎ、山本様はじめ職員の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。

さて、私たちのサークル「ふたば」は、四日市市をはじめとした三重県北勢地域を中心に多胎保育者同士の交流会や多胎支援活動をしております。

私たちだけでは補えない部分が出てきたためこの度要望書として提出させていただきます。

つきましては、下記のとおり要望いたしますので、ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

- 1 地域で多胎育児者を見守る仕組みづくりのお願い
- 2 地域を超えた市町合同の多胎交流会開催のお願い
- 3 多胎支援活動の補助について（場所・サポーター）
- 4 専門職（助産師・保健師）の参加
- 5 多胎に関する勉強会を開催してほしい

多胎児とは

「多胎児」とは、双子、三つ子などのことです。

多胎児は単胎児に比べて低出生体重児の割合が多く、同時に2人以上の妊娠・出産・育児をすることに伴う、身体的・精神的な負担や経済的な問題、社会からの孤立など、多胎児ならではの困難さに直面する保護者も少なくありません。

多胎児は育児負担の大きさから虐待につながるリスクは単胎児(1人)の場合の2.5~4倍※になります。

※日本多胎支援協会の2017年度の調査より

地域で多胎育児者を見守る仕組みづくりのお願い

現在「ふたば」には川越町の会員が1人在籍しております。

多胎サークルふたばは双子育児真っ最中の親による自主運営のため、限界があります。

そこで町全体で多胎児および多胎育児者を見守っていただけるような取り組みをお願いしたいと思い、今回要望に参りました。

貴町の多胎支援状況

- 多胎児の年間出生数：約1-2組
- 多胎支援：無し
- 多胎サークル：無し

ふたばができること

- 多胎育児サークルとして川越町での開催や川越町民の多胎育児者の受け入れ
- 多胎交流会の開催
 - 活動場所や見守りサポーターの支援のお願い
 - 保健師や助産師など子育てに関する専門職の方の参加のお願い
- 多胎育児者として多胎育児に関する勉強会の開催
- 多胎に関するアンケートの呼びかけ

多胎支援事業には国から費用半額補助あり

令和2年度に国からの多胎支援が1/2の補助が始まり、三重県では桑名市や四日市市など近隣の市町が多胎支援事業の拡充を始めております。(現在三重県の11/29市町で多胎支援事業あり)

別途資料を添付いたしますのでご覧ください。ご検討の程よろしく申し上げます。

以上